



埴輪（はにわ）をつくろう

埴輪（はにわ）とは、今から約1700～1400年前につくられた土でつくった焼き物で、古墳（土盛りしたお墓）の上に立ててならべていました。

作り方は、ねんどをひも状にしてつみあげて作ります。

～本体（胴体）の作り方～

作業の手順		
1	ねんどをひも状にのばす。 ひもの太さは、人差し指から親指の太さ（1.5cmφ～2cmφ）。 細すぎるのはダメ！	
2	段ボール板の上に、1で作ったねんどひもを直径7～8cm程度の輪にする。	
3	2段目を載せる、1段目の土を上にもはしてならすようにして2段目とくっつける。 1段のせるごとに、この作業をくりかえす。	
4	6・7段積んでから、輪の直径をだんだん小さくして頭を作っていく。 最後は、粘土を円盤状（クッキーのような大きさ・形）にして穴をふさぐ。	
5	本体の積み上げ終了。 表面をへらまたは指でなでて、きれいにならして仕上げる。	

～腕や鼻の付け方・目や口の開け方～

	作業の手順	
1	<p>まず正面を決める。 完全な円筒形でないので、正面にする場所を変える ことによって、表情も変わる。</p>	
2	<p>うで・鼻を付ける（１） 接合面を竹串でキズをつけて水を十分に含ませ、粘土を泥状に溶かしてひっつける。 ひっつけた所を指や竹べらでなでてきれいにならす。</p>	
3	<p>うで・鼻を付ける（２） うではできるだけ、２ヶ所でくっつける。 そうでない時は、太く、短くするようにする。</p>	
4	<p>うで・鼻を付ける（３） 鼻を付ける時やりぼん・帽子などの飾りを取り付ける時も、キズを付け、水を付けて溶かして接合する。</p>	
5	<p>目と口を開ける。 竹筒を水で湿らせてから、目的の位置に当て、回転させながら押し込んでいく。 穴を開けずに竹串でかいても OK</p>	
6	<p>背面等に目印になるようにサイン・イニシャルを竹串で書き込んで、完成。 連絡先カードを書く。</p>	